

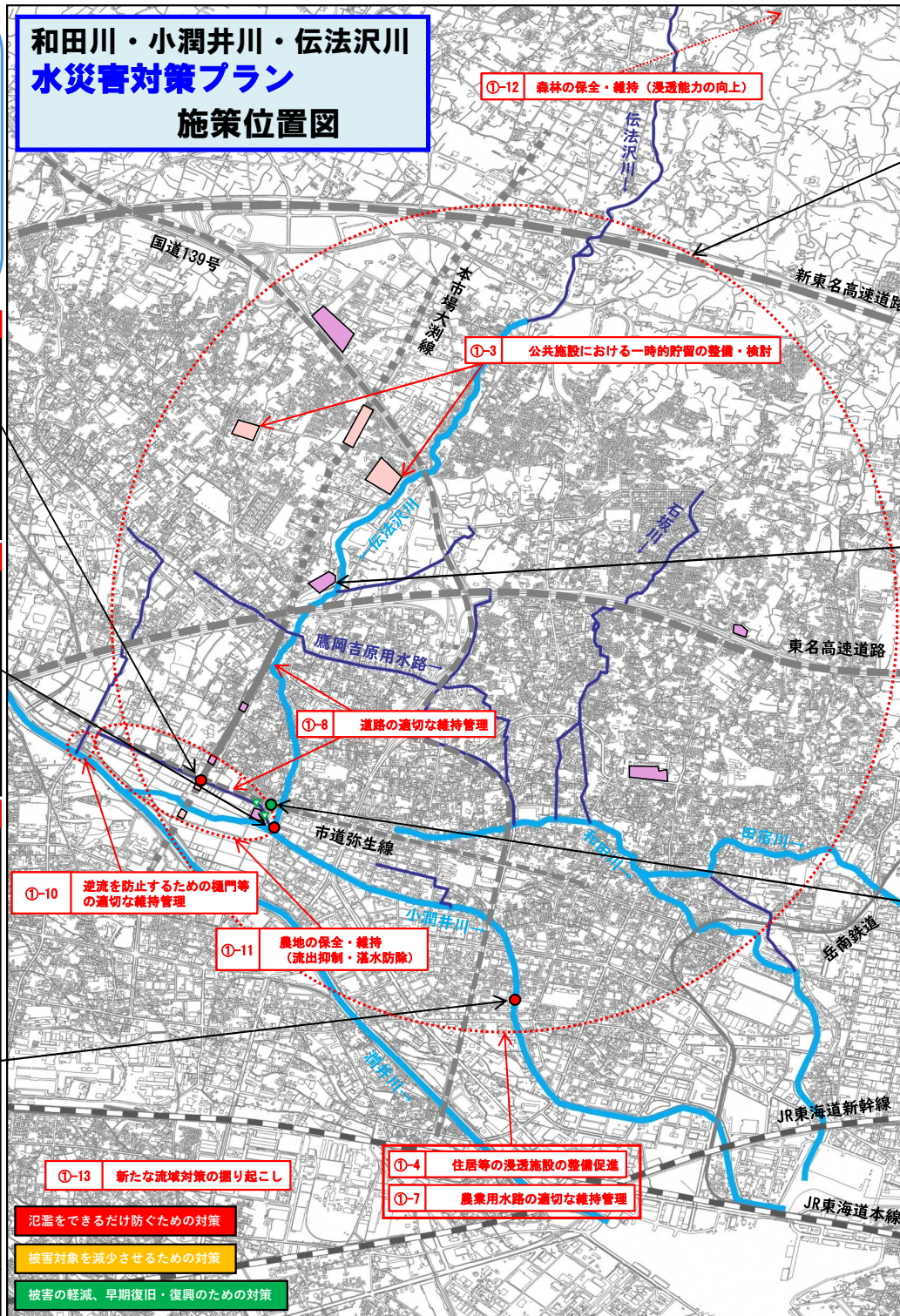
### 水災害対策プランの目的・考え方

浸水被害が頻発している和田川・小潤井川・伝法沢川周辺を対象とし、行政機関による河川改修を進めることはもとより、住民一人ひとりを含むあらゆる関係者が、浸水被害の実態や原因、対策の目標についての認識を共有し、流域全員が協働して流域全体で行う持続可能な取り組むべき治水対策[流域治水]を示したもの。

◀流域治水の「3つの対策」の方向性▶

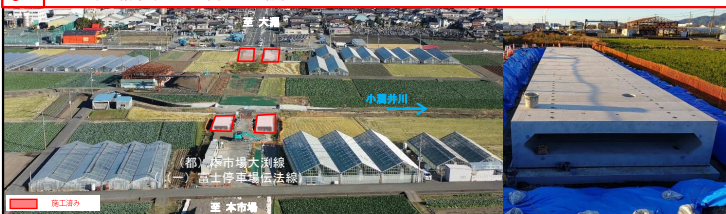
- ① 氾濫をできるだけ防ぐための対策
- ② 被害対象を減少させるための対策
- ③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

## 和田川・小潤井川・伝法沢川 水災害対策プラン 施策位置図



- ① 氾濫をできるだけ防ぐための対策
- ② 被害対象を減少させるための対策
- ③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

#### ①-2 道路整備事業による調整池の設置



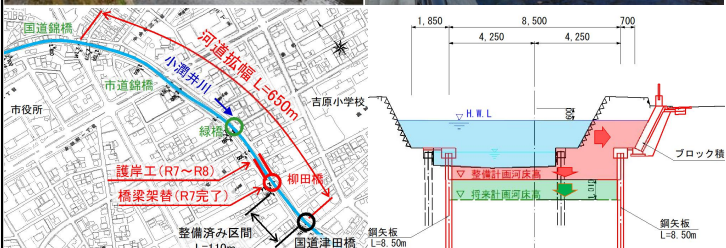
新たな道路の整備に伴い河川への流出量を調整するための貯留施設は整備が完了。（県・市）

#### ①-5 小潤井川・伝法沢川・和田川の適切な維持管理



小潤井川の伝法沢川合流点や合流点上流で竹や樹木の伐採を実施。（県）

#### ①-1 小潤井川の改修



河川整備計画に基づく改修（計画流量80m3/s）を国道139号津田橋より上流に向け実施しており、令和7年度は河川の断面を広げるための市道柳田橋の架け替え工事が完了。引き続き、柳田橋上流左右岸の護岸工事を施行中。（県）

#### ①-6 準用河川や普通河川等の適切な維持管理



地区要望や河川の巡視により、土砂堆積等が発生している河川において、浚渫・清掃・除草を実施。（市）

#### ①-9 貯留施設の適切な維持管理



【伝法沢川・横堀川調整池における令和7年度の貯留実績】

月日	最高水位 (m)	貯水量 (m3)	貯水率 (%)
(計画)	8.9 (HWL)	56,000	-
R7.7.15	4.96	23,900	42.6
R7.9.5	1.71	5,900	10.5

伝法沢川・横堀川調整池では、リモコン草刈り機を使用した除草にて省力化を図り、必要な貯留機能を確保している。令和7年度の最大貯留量は、7月15日降雨時の23,900m3（全体容量の約半程度）。（県）

#### ③-10 主要幹線道路の冠水情報提供体制構築



弥生線に冠水状況を分かり易くするため、水深路面表示を設置。（市）

#### ③-9 河川の水位観測器及び監視カメラの設置と観測情報等の提供



過去に浸水被害が発生した千代田町の市管理河川に水位計を設置し（2か所、右図の▽）、水位情報を公開している。（市）